

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ⑤ 三重苦（コロナ・熱中症・集中豪雨）からの脱出

コロナウイルスの第二波がこんなに早く到来するとは思いませんでした。東京・大阪・愛知・福岡は特に感染の数が多く、街中に出ることも憚れる毎が続いています。公共交通機関を利用すること（不特定の人と密になること）も怖い。第一波と違って、本当に身近な場所で感染が起きています。見えない恐怖に晒される毎が続いています。

夏の授業日の前半が終わりました。雨が長く続き、このあたりが猛暑日となったのは休みに入ってからで、熱中症の心配は少なくて済みました。「中学校は1日6時間授業、小学校は7月中5時間授業、8月に入ったら4時間授業を基本とする」という市教委と校長会の申し合せは上手く機能しました。校長先生方に何回も話し合っていたいただいた甲斐がありました。暑い時期に授業日を設けるという初めての試みは、何とか無事に終わることができました。それでも7月の末になりコロナの感染が拡大し、こんな危険の中で子どもたちに登校をさせるのかというご心配もいただきました。学校や家庭での手指洗いやうがいの徹底、教職員やボランティアの方によるトイレやノズルの消毒などのお陰で、臨時休校することなく、夏の授業日前半を終えることができました。本当に感謝の気持ちいっぱいです。ありがとうございました。

今年も線状降水帯による集中豪雨の恐怖を何度もテレビで見ました。私たちの住む海部津島は低地です。ひとたび川が氾濫し、堤防が切れたら大変な事になります。伊勢湾台風（1959）や目比川決壊（1976）、東海豪雨（2000）など大きな水害に襲われてきました。毎月第3日曜日は家庭防災の日です。どうかこの夏家族で地域の災害について調べ、安全な場所へ避難する方法を考えて下さい。「コロナ・熱中症・集中豪雨」これら三重苦から脱出し、安全で安心な命最優先の学校生活を取り戻すことが大きな課題となっています。

最後にこのお盆休み、ケーブルテレビを活用したテレビ授業の第2弾の放映をしています。『夏休みの自由研究を楽しもう 2020 講座』で、海部津島の先生方に12コマのトピック授業（得意とする総合的な学習）をして頂きました。コロナの感染拡大も考え、計画しました。津島市教育委員会もこの事業を応援しています。是非一度ご覧下さい。

朝顔の蔓は庇に届きけり
赤白と群がり咲くや百日紅

令和2年8月17日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視